

ところざわ倶楽部 主催
公開文芸講座 参加募集

2017・6月～7月

江戸っ子金ちゃんの
トラウマとプライド

「人間・夏目漱石」全4回

～ 北海道送籍がその生涯にもたらしたもの ～

講師：栗田博行先生（子規・漱石研究家・新宿在住）

昨年が没後100年、今年は生誕150年。
文豪夏目漱石への注目と論評が盛んである。
しかし、「人間・夏目漱石」の核心を形作った
トラウマに触れたものは見かけない。

明治25年、25歳での兵役免除の土地北海道への送籍。この一事は反面、あの巨大な創作のマグマの熱源ともなった。
国家がもたらす戦争と平和のはざまで、ひとりの明治のインテリがなし遂げた自己形成と生涯の苦闘と限界を追う。



講師 栗田 博行氏 昭和14年松山市生まれ。早稲田大学文学部卒 昭和38年NHK松山局入局。教育・教養番組を中心に制作現場を歩む。「大江健三郎・私の子規」、坪内揆典、司馬遼太郎共演による「人間・正岡子規」 吉田松蔭と子規を論じた司馬・大江対談「師弟の風景」、「司馬遼太郎・雑談『昭和』への道」（NHKブックス「昭和という国家」として採録などを手がけた。ところざわ倶楽部 文芸講座は、「人間・正岡子規」に次いで2回目

日程；平成29年6月～7月 全4回

★会場：所沢市生涯学習センター201号室 ★参加費：1500円

★第1回：6月5日(月) 幼・少年期→青年期の自己形成 慶応3年、江戸牛込馬場下横町旧家の生まれ。里子に出され養子にも出される不幸な生い立ちだったが、9歳で実家へもどって以後は、敏感な心をもったやんちゃ坊主に急成長。籍は養家に置いたままだったが、長兄の配慮もあって一高・帝大と順調に最高学歴を歩む青年となった。

★第2回：6月21日(水) 国家がもたらした青年期の危機 子規と知り合った明治22年、国民皆兵令公布。それは夏目家にも、青春を謳歌していた金之助にも大問題を投げかける。やがては兵役がかかってくる…

★第3回：6月26日(月) 壮年期…あの事を胸底にひそめて 兵役は回避したが悩みは深く、高給取りの教職も転々。子規と対照的に、生涯の働きを文学と確定するのは遅れた。だがそれは、漱石文学大噴火の準備期間となった。

★第4回：7月10日(月) 消えなかったトラウマと創作のマグマ 吾輩は猫である」から「明暗」執筆中に没するまでわずか11年。その間に、あれほどの巨大な文業を生んだエネルギーは、どのようにして湧き続けたのか…。

*受付：午後1時～ 開演：1時30分(毎回) (受付初回のみ12:30～)

★講座申し込み方法

往復はがきに「人間・夏目漱石」参加希望と明記 住所、氏名、電話番号を記入、下記住所に郵送して下さい。

「宛先」〒359-0025 所沢市.上安松 769-6 佐藤重松 ★申し込み締め切り：5月15日

問い合わせ ☎ 090-5412-5760 佐藤重松